

製品名: SAP 155 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17595**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	145kDa

抗原情報

遺伝子名	SF3B1
別名	SF3B1; SAP155; Splicing factor 3B subunit 1; Pre-mRNA-splicing factor SF3b 155 kDa subunit; SF3b155; Spliceosome-associated protein 155; SAP 155
遺伝子 ID	23451.0
SwissProt ID	O75533
免疫原	抗血清はヒト SAP155 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 75-124

背景

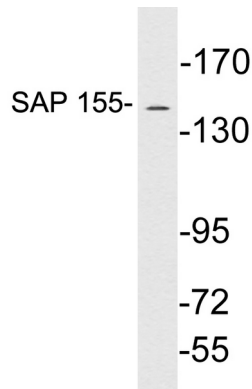
この遺伝子は、スプライシング因子 3b タンパク質複合体のサブユニット 1 をコードしています。スプライシング因子 3b は、スプラ

イシング因子 3a および 12S RNA ユニットと共に、U2 小型核内リボ核タンパク質複合体 (U2 snRNP) を形成します。スプライシング因子 3b/3a 複合体は、イントロンの分岐部位の上流にある pre-mRNA に配列非依存的に結合し、U2 snRNP を pre-mRNA に固定する可能性があります。スプライシング因子 3b は、U12 型マイナースプライソソームの構成要素でもあります。サブユニット 1 のカルボキシ末端側の 3分の2には、22 個の非相同な HEAT 反復配列が縦列して存在し、棒状のらせん構造を形成しています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: スプライシング因子 SF3B のサブユニット。U2 snRNP が pre-mRNA の分岐点配列 (BPS) に安定的に結合することで形成される「A」複合体の組み立てに必須。分岐点上流における SF3A/SF3B 複合体の配列非依存的な結合は必須であり、U2 snRNP を pre-mRNA に固定する。「E」複合体の組み立てにも関与している可能性がある。また、U12 依存性スプライソソームにも属し、希少な核内 pre-mRNA イントロンのスプライシングに関与する。、PTM: リン酸化。リン酸化はスプライシング触媒段階と同時に起こる。サイクリン依存性キナーゼによる Thr-244、Thr-248、Thr-313 のリン酸化は、有糸分裂中に PPP1R8 との相互作用を促進する。、類似性: SF3B1 ファミリーに属する。、類似性: 11 個の HEAT リピートを含む。、細胞内局在: 有糸分裂中に、核スペckルから細胞質へ一時的に分散する。、サブユニット: スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPA3、HNRPC から構成される。HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGO1、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、シンクリップ、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCCHC8。スプライシング因子 SF3B の構成要素であり、少なくとも 8 つのサブユニット (SF3B1/SAP155/SF3B155 、 SF3B2/SAP145/SF3B155 、 SF3B3/SAP130/SF3B130 、 SF3B4/SAP49/SF3B49、SF3B14A、PHF5A/SF3B14B、SF3B10、SF3B125) から構成される。B-WICH 複合体の構成要素であり、少なくとも SMARCA5/SNF2H、BAZ1B/WSTF、SF3B1、DEK、MYO1C、ERCC6、MYBBP1A、DDX21 から構成される。SF3B はスプライシング因子 SF3A および 12S RNA ユニットと会合して U2 小核リボ核タンパク質複合体 (U2 snRNP) を形成する。SF3B1 はスプライシング因子 U2AF と直接相互作用する。リン酸化型は PPP1R8 と相互作用する。

研究分野

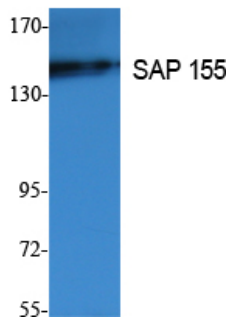
スプライソソーム;

画像データ



SAP 155 抗体を使用した、Jurkat 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。

(kD)



SAP 155 ポリクローナル抗体を使用した K562 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。
二次抗体は 1:20000 に希釈されました。